

はじめに

みなさんは、今までにお金の教育を受けたことはありますか。

大人になってから、本を読んだり、セミナーに出たり、あるいは、お金で失敗して、痛い思いをして、自分なりに学んできたという方がほとんどではないでしょうか。

大人になると、お金を見ない日はないというくらい、とつても身近で大切なものののに、子どもの頃に、お金について考える機会がないということが不思議でなりません。

そもそも、学校では、お金の授業は、カリキュラムにはありませんので、学校で学ぶということはありません。そして、子どもたちは、お金について、どこで学ぶのでしょうか？

学ぶとしたら、家庭のなかしかありませんよ。

しかし、実際には、お金の話はタブーとばかりに、家庭でも、ほとんど行われていないのではないのでしょうか。

お金のことは、親が決めてしまったりして、家族でお金について話し合っていきたいと思っ

ていても、どうやってお金のことを話し合えばいいのかわからない、という方も多いと思います。

誰もお金の教育を受けてきていないので、わからないのは、当然のこととも言えます。

2018年3月決算で、ソフトバンクは純利益が1兆円を超え、トヨタに至っては、日本企業として過去最高額の2兆円を超えました。

週刊ダイヤモンド（2017年6月10日号）によると、この2社が揃って社員に求めるスキルが「会計とファイナンス」で、英語ができるのは特別ではなくなっているそうです。

英語は子どものときから学ばせようと、英会話教室に通わせたりしています。2020年からは、英語教育は小学校で必修化されます。

一方で、お金の教育については、金融広報中央委員会のホームページに、小学生・中学生・高校生・先生保護者向けのお金のテキストが掲載されていますが、お金のことを学ぶ場や時間を作ろうという動きは聞こえてきません。

僕は子どもの頃、学校の授業で、因数分解や歴史の年号を覚えたりしましたが、大人になって必要になったことはほとんどありません。

大人になった今、必要不可欠でほぼ毎日と言ってもいいくらい使っているもの、それは「お金」です。

お金について、子どものときに考える機会がないのは、子どもがお金について学ぶのは卑しいとか、子どもはいわゆる学校の勉強に専念させた方がいい、などの考えがあるからかもしれない。

日本人ほど、まじめに仕事をしている国民はいないと思います。それなのに、お金のトラブルや悩みが尽きないというのは、皮肉であり、残念というしかありません。

僕は、お金の教育がないこと、つまり、お金に対して考える時間や機会がないことが、そういう現実を生み出す要因のひとつになっているのではないかなと思うのです。

子どものときから、お金のことを考えていくことは、卑しいことでも何でもなくて、将来

の自分の人生を考えていくうえで必要なことであり、お金の教育は欠かすことができないものと、強く感じていきます。

今回の出版につきましては、galaxy株式会社の増子さんが、僕のホームページを見てくださり、「よかったら本を出してみませんか」というお誘いをいただいたことから、実現しました。

僕は世間で言われるような、お金持ちでもなければ、成功者でもありません。お金の本というと、実際にお金持ちになった人の体験談や、成功法則のようなものがほとんどです。そのなかで、僕がお金についての本を書いていいものなのかどうか、と悩み迷いました。

増子さんから、「そういう人が書く本だからこそ、読者のみなさんに、より身近に感じてもらえることができるのではないのでしょうか」という一言をいただき、今までの経験から、何か伝えられることがあるかもしれないと思ひまして、ありがたく書かせていただくことにしました。

ですから、この本には、億万長者や成功者になるための答えやテクニクが書かれている

訳ではありません。そもそも、僕にはそういう本は書けません。

ただ、お金の教育って、億万長者や、成功者と呼ばれる人になるためのものではないと思っけています。自分にとって幸せと感じる人生を実現させるために、お金が必要なのであって、幸せと感じる定義や基準は人それぞれ違いますし、自分にとって必要なお金も人それぞれ違うはずですよ。自分にとって幸せとを感じる人生を、自分で考えて、実現させていくことが、お金の教育で大事なことだと思っけています。

自分を生きるために、好きなことをして、人の役に立って、必要なお金がある人生、を送ることが、僕が目指すお金の教育です。

僕は40代半ばになりますが、ようやく、好きなこと・やりたいことをして、本当に少しずつですが、そのことでお金をいただけるようになりつつあり、今まさに、その人生を歩み始めたところですよ。

この本でお伝えすることを実践すれば、将来確実に、お金に困らない人生を送ることができるといふものではありません。

お金の教育については、これまでほとんど手つかずで未開拓な分野ですので、正直、僕自身も、試行錯誤しながら、日々研究し、実践している段階です。

それでも、必要としてください、親御さんや、子どもたちが、お金や生き方について考えるきっかけになって、将来の人生が豊かになる何らかのお役に立つことができたら、嬉しく思います。

本書をお手に取っていただいたこと自体に、まずは心より感謝申し上げます。

では、生き方とお金を考える旅に、一緒に出発しましょう！